

事業計画書目次

[脱炭素・GREEN×EXPO推進局]

2款5項1目

(単位：千円)

計画書頁	事業名	令和8年度		令和7年度		増△減（8－7）		新規・拡充
		事業費	市債+一財	事業費	市債+一財	事業費	市債+一財	
1	新たな交通整備事業	467,920	454,920	386,000	380,000	81,920	74,920	
2	インターチェンジ整備事業	261,900	261,900	261,900	261,900	0	0	
3	交通輸送対策事業	2,710,827	2,710,809	657,000	608,000	2,053,827	2,102,809	○
	計	3,440,647	3,427,629	1,304,900	1,249,900	2,135,747	2,177,729	

令和8年度 事業計画書

事業局課	脱炭素・GREEN×EXP0推進局	上瀬谷交通整備課				新規拡充		□ 新規 □ 拡充		事業評価書番号	2
歳出予算科目	一般会計	2	款	5	項	1	目	政策群番号	12	施策群番号	27
事業名称	新たな交通整備事業										

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和8年度	467,920	13,000	0	0	399,000	55,920
令和7年度	386,000	6,000	0	0	260,000	120,000
増▲減	81,920	7,000	0	0	139,000	▲64,080

歳出		令和5年度	令和6年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
予算	事業費	80,000	300,000	1,174,380	1,551,000	7,681,000
	市債＋一般財源	80,000	300,000	588,890	784,000	3,849,000
決算	事業費	71,601	128,147			
	市債＋一般財源	71,601	115,237			

事業概要 (アクティビティ)		相模鉄道本線瀬谷駅を起点とする新たな交通を導入します。							
事業指標① (アウトプット)		年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
調査・設計・法定手続・工事	単位	目標	事業化検討（概略検討）	基本設計、調査、都市計画協議	詳細設計、法定手続	詳細設計、法定手続	積算・工事発注	工事	工事
	工程	実績	概略設計・調査、事業方針決定	基本設計、調査、都市計画協議					
事業指標② (アウトカム)		年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
調査・設計・法定手続・工事	単位	目標	事業方針決定	設計、調査、都市計画手続の進捗	設計、法定手続の進捗	設計、法定手続の進捗	積算・工事発注	工事	工事
	工程	実績	事業方針決定	設計、調査、都市計画手続の進捗					
事業目的		道路混雑の抑制や来街者への交通利便性の向上、将来的には誰もが移動しやすい持続可能な地域交通を目指し、本市西部地域の交通ネットワークを構築していきます。							
背景・課題		本市西部地域では、鉄道路線が東西方向に整備されていますが南北方向への移動手段が少ないという課題があります。 また、旧上瀬谷通信施設地区では、2027年3月にGREEN×EXP02027が開催され、その後は観光・賑わい地区をはじめとする大規模な土地利用転換が行われることから、交通需要の大幅な増加が想定されます。一方で、米軍に提供されていた歴史的経緯から、本地区周辺の都市基盤は脆弱な状況であるほか、本地区に至るバス等の公共交通が整備されていません。							
根拠法令・方針決裁等		道路法、横浜国際港都建設法、令和6年1月方針決裁							
根拠・データ等		(1)「交通政策審議会 東京圏における今後の都市鉄道のあり方について（答申）（平成28 年4月20 日）」 (2)「横浜市中期計画2022～2025（令和4年12 月）」 (3)「横浜国際港都建設計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（平成30 年3 月）」 (4)「横浜都市計画マスタープラン瀬谷区プラン（平成29 年3 月）」 (5)「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（令和2年3 月）」 (6)「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画デザインノート（令和5年2 月）」							
事業スケジュール		平成23年3月 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7、8年度 令和9年度～ 「横浜市米軍施設返還跡地利用行動計画」改定(22年11月 市民意見募集実施) 配慮書公告・縦覧、旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画策定 基本設計、測量・調査、方法書公告・縦覧 事業化検討、基本設計、事業者調整 事業化検討(事業者調整、軌道法、道路法、都市計画法に基づく手続などに向けた検討) 都市計画法に基づく協議・調整、事業化検討 都市計画法に基づく協議、基本設計、調査 都市計画法に基づく手続、詳細設計 積算・工事発注、工事着手							
事業開始年度		令和2年度							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		8年度	7年度	差引(増減)	増減説明
	1	新たな交通整備事業	466,120	384,100	82,020	検討の深度化等、事業進捗に伴う増
	2	事務費	1,800	1,900	▲100	事務費節減による減

	細事業合計	467,920	386,000	81,920	
本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、 公正・適正に作成しました。	課長 守谷 俊輔	係長 関 美有希			

令和8年度 事業計画書

事業局課	脱炭素・GREEN×EXPO推進局	上瀬谷交通整備課				新規拡充		□ 新規 □ 拡充		事業評価書番号	4
歳出予算科目	一般会計	2	款	5	項	1	目	政策群番号	12	施策群番号	27
事業名称	インターチェンジ整備事業										

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和8年度	261,900	0	0	0	150,000	111,900
令和7年度	261,900	0	0	0	180,000	81,900
増▲減	0	0	0	0	▲30,000	30,000

歳出		令和5年度	令和6年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
予算	事業費	80,000	150,000	533,900	1,962,500	4,422,500
	市債＋一般財源	80,000	150,000	533,900	1,477,500	3,322,500
決算	事業費	66,782	143,408			
	市債＋一般財源	66,782	143,408			

事業概要 (アクティビティ)		旧上瀬谷通信施設地区と東名高速道路を直結する新たなインターチェンジの整備を行います。							
事業指標① (アウトプット)		年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
調査・設計・法定手続・工事	単位	目標	事業化検討・予備設計	予備修正・詳細設計・法定手続	詳細設計・法定手続	詳細設計・法定手続	詳細設計・法定手続	用地取得・工事	用地取得・工事
	工程	実績	協議・調整、予備設計、事業方針決定	協議・調整、設計、環境影響評価手続					
事業指標② (アウトカム)		年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
調査・設計・法定手続・工事	単位	目標	事業方針決定	設計、法定手続の進捗	設計、法定手続の進捗	設計、法定手続の進捗	設計、法定手続の進捗	用地取得・工事	用地取得・工事
	工程	実績	事業方針決定	設計、法定手続					
事業目的		旧上瀬谷通信施設地区で整備を予定している広域防災拠点の機能を最大限に発揮するため、救急・救命活動や救援物資輸送の大動脈となる東名高速道路から直接アクセスできる新たなインターチェンジを整備し、本市全体の防災力の強化を図ります。 また、新技術を活用した効率的な国内物流を可能にする基幹物流拠点の立地を誘引するなど、効率的かつ安定的な物流を確保し、市民の暮らしを支えるとともに、市内経済の活性化に繋がります。							
背景・課題		GREEN×EXPO 2027開催後の跡地には、「環境」と「防災」をテーマとする公園を整備します。また、本市初の広域防災拠点として、大規模災害時に全国から集まる広域支援部隊を受け入れるベースキャンプ機能や、市域の避難所に物資をいち早く送り届けるための拠点機能をもたせます。 また、令和2年3月に「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画」を策定し、4つの土地利用ゾーン等を示しました。その1つに「物流ゾーン」が配置され、「東名高速道路や保土ヶ谷バイパスなどの広域的な幹線道路との近接性をいかし、新技術を活用した効率的な国内物流を展開する新たな拠点を形成する」としています。							
根拠法令・方針決裁等		道路法、高速自動車国道法等、令和6年1月方針決裁							
根拠・データ等		旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画デザインノート（令和5年2月）							
事業スケジュール		令和4年度 令和5年度 令和6～8年度 令和9年度 令和10年度～	基本検討、事業手法の協議・調整 事業化検討、予備設計 都市計画等の法定手続、予備修正・詳細設計 連結許可申請、詳細設計 用地取得・工事						
事業開始年度		令和5年度							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		8年度	7年度	差引(増減)	増減説明
	1	インターチェンジ整備事業	260,100	260,000	100	検討の深度化等、事業進捗に伴う増
	2	事務費	1,800	1,900	▲100	事務費節減による減

	細事業合計	261,900	261,900	0	
本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、 公正・適正に作成しました。	課長 関野 達也	係長 関 美有希			

令和8年度 事業計画書

事業局課	脱炭素・GREEN×EXPO推進局	GREEN×EXPO推進課				新規拡充		■ 新規 ■ 拡充		事業評価書番号		1	
歳出予算科目	一般会計	2	款	5	項	1	目	政策群番号	12	施策群番号	27		
事業名称	交通輸送対策事業												

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和8年度	2,710,827	0	0	18	1,262,000	1,448,809
令和7年度	657,000	49,000	0	0	389,000	219,000
増▲減	2,053,827	▲49,000	0	18	873,000	1,229,809

歳出		令和5年度	令和6年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
予 算	事業費	0	50,000	1,760,410	0	0
	市債＋一般財源	0	50,000	1,712,910	0	0
決 算	事業費	0	77,586			
	市債＋一般財源	0	77,586			

事業概要 (アクティビティ)		上瀬谷地区や近傍の拠点駅周辺において、住民や来街者が安全・快適に移動できるよう、駅前広場の改良や歩行者・自転車の通行環境の整備など公共空間の整備を進めます。							
事業指標① (アウトプット)		年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
	単位	目標		計画	設計	整備・運用	運用		
		実績		計画					
事業指標② (アウトカム)		年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
	単位	目標				安全・円滑な 移動	安全・円滑な 移動		
		実績							
事業目的		上瀬谷地区では、令和9年3月から9月までGREEN×EXPO 2027が開催されることや、その後の新たな活性化拠点の形成により、多くの来場者・来街者が見込まれることから、同地区や近傍の拠点駅周辺において、住民や来街者が安全・快適に移動できるよう、駅前広場の改良や歩行者・自転車の通行環境の整備など交通環境の整備を進めます。また、GREEN×EXPO 2027開催中の交通混雑リスクをより低減するため、交通需要マネジメント（TDM）の取組を進めます。							
背景・課題		旧上瀬谷通信施設地区では、2027年3月にGREEN×EXPO 2027が開催され、その後は観光・賑わい地区をはじめとする大規模な土地利用転換が行われることから、交通需要の大幅な増加が想定されます。							
根拠法令・方針決裁等		道路法 等							
根拠・データ等		道路関連法令（道路法、道路交通法） GREEN×EXPO 2027 来場者輸送実施計画 初版							
事業スケジュール		令和6年度：交通環境整備の検討、駅前広場の改良に係る設計、瀬谷駅周辺の公共空間検討 令和7年度：交通環境整備に係る工事、駅前広場の改良に係る準備工事、瀬谷駅周辺の公共空間の詳細検討、広域的なアクセス検討 令和8年度：交通環境整備に係る工事、駅前広場改良に係る工事、瀬谷駅周辺の公共空間の整備、広域的なアクセスに係る調整、交通需要マネジメントの実施に向けた検討等 令和9年度：瀬谷駅周辺の公共空間の運用、交通需要マネジメントの実施等							
事業開始年度		令和6年度							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		8年度	7年度	差引(増減)	増減説明
	1	交通輸送対策事業費	2,710,827	657,000	2,053,827	事業の進捗による増
	細事業合計		2,710,827	657,000	2,053,827	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長	中林 都	係長	大賀 俊洋